

「地域密着型金融推進計画」(平成21年度)の取組方針

当金庫では、平成15・16年度の「リレーションシップバンキングの機能強化計画」、続く平成17・18年度は「地域密着型金融推進計画」を策定し取り組んでまいりました。また、平成19年度からは、「地域密着型金融推進計画」を恒久的な取組みと捉え、地域金融機関として地域発展のため推進してきてまいりました。

当金庫が目指す姿とは、『地域に親しまれ、信頼され、お役に立つ、地域とともに発展する信用金庫』であります。

少子高齢化・過疎化が進む当地方にあって、景況は公共工事の大幅な削減をはじめとして大型店の進出もあり、地域の経済環境は後退傾向にあると思われます。このような環境の中、地域に住む人々をはじめ、経済活動に携わるお客様への取組み・支援こそが私達の仕事であり使命であると考えております。

平成21年度についても「地域密着型金融推進計画」では、下記の項目について取組み、地域貢献に向けたさらなる努力を実施してまいります。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域密着型金融推進計画表(平成 21 年度)

項 目	取組方針	具体的取組策	備 考
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化			
(1) 創業・新事業支援	・ 創業、新事業に対応する融資商品の提供により新規事業所の開業支援及び新規雇用の創出を目指します。	・ 起業家に対して事業計画のアドバイス、国の制度や支援期間等の紹介及び融資商品の提供を実施していく。	
(2) 経営改善支援	・ 経営改善の取り組みの支援	・ 経営改善計画書の策定支援 ・ 経営改善支援先をリストアップしランクアップを図っていく。	
(3) 事業再生	・ 企業価値が保たれるうちの早期再生を図っていきます。	・ 中小企業再生支援業議会の活用 ・ 専門家(税理士、公認会計士、中小企業診断士等)との連携	
(4) 事業承継	・ 事業承継問題の解決に向けた外部専門家との連携	・ 案件により、弁護士・税理士等と連携し、円滑に事業承継を進めていく。	
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底			
(1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の推進	・ 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資を推進します。	・ 「融資先実態把握表」の作成を通して定性・定量情報の適正評価により審査能力の向上を図ってまいります。	
(2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底	・ 地域のニーズを踏まえた資金供給手法に取り組んでまいります。	・ 目利き機能向上への取組み ・ シンジケートローンの取組み	

地域密着型金融推進計画表(平成 21 年度)

項 目	取組方針	具体的取組策	備 考
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献			
<p>(1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取り組み</p>	<p>名寄市立大学との産学連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業関連ビジネスの開発と事業化に係わる基礎的研究の支援をまいります。 <p>地元商工会議所等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源等を活用した新たな取り組みの発掘と新商品、新サービスの開発等の地域活性化へ取り組んでまいります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 油糧用資源の加工技術の開発と資源の製品化に関する支援。 ・ 産学連携から農商工へと連携した地域活性化と地産地消に関する支援。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的事業化の可能性の高いものを中心に地域資源の利活用や事業化に対する検証を行うための研究会の開催。 ・ シンポジウムの開催 	